

# 平成 21 年仙台市の人口動向

人口の動向は、自然動態（出生及び死亡の動き）及び社会動態（転入及び転出の動き）によって説明されます。この特集は、平成 21 年 1 年間の仙台市の人口動向について、社会動態を中心に報告するものです。

## 利用上の注意

- ・本報告書で用いた地域区分は次のとおりです。

仙台都市圏内の他市町村：塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村

北海道地方：北海道

東北地方：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

東北 5 県は、東北地方から宮城県を除いた地域

関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県

近畿地方：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国地方：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※なお、本文中にある「その他の地方」は、特にことわりのない場合、上記のうち東北地方と東京圏を除いた地域をいいます。

## 用語の説明

- ・登録人口 = 住民基本台帳人口 + 外国人登録人口
- ・人口増加数 = 自然増加数 + 社会増加数
- ・自然増加数 = 出生数 - 死亡数
- ・社会増加数 = 転入数 - 転出数 + その他の増加数（職権記載・消除、国籍取得・喪失、転出取消等）

# 解 説

## I 登録人口による人口動向

### 1 概 要

平成 21 年末の登録人口は 102 万 3120 人でした。

また、平成 21 年 1 年間の人口増加数は 2744 人となり、平成 20 年の人口増加数 2409 人に比べ 335 人増加となっています。その内訳は、自然増加数が 2426 人（対前年 301 人の減少）、社会増加数が 318 人（対前年 636 人の増加）となりました。（図 1、表 1、統計表第 1 表）

図 1 人口増加数の推移（平成 12 年～21 年）

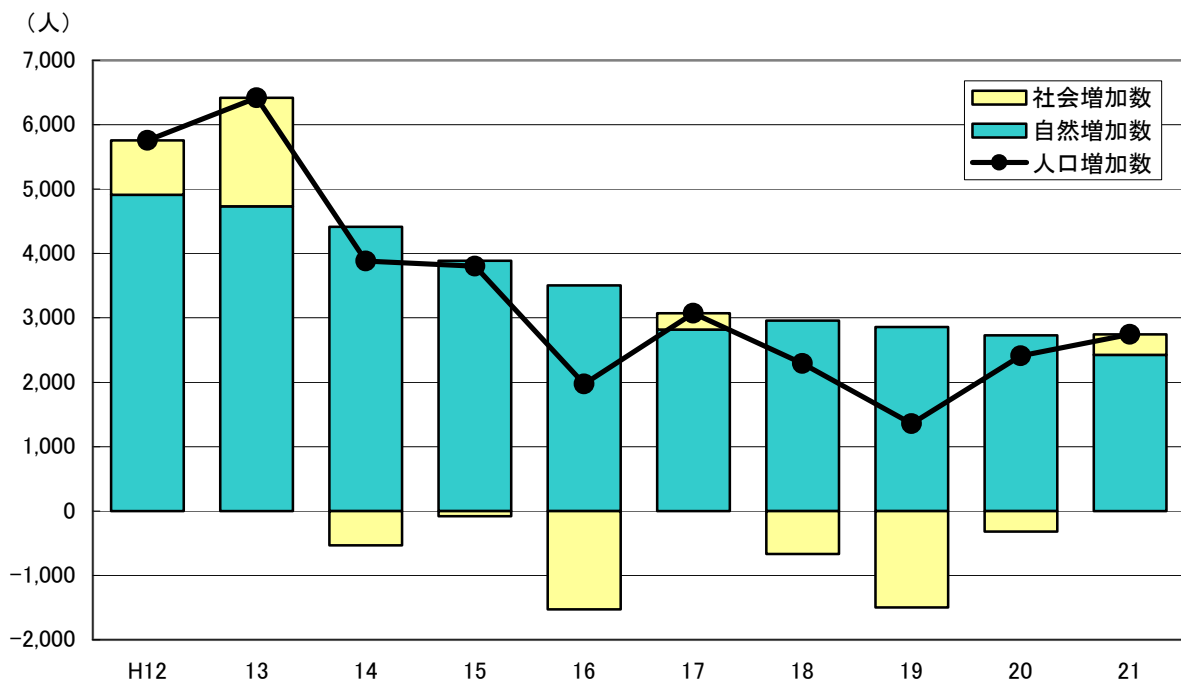


表 1 登録人口の推移—全市、区（平成 16 年～21 年）

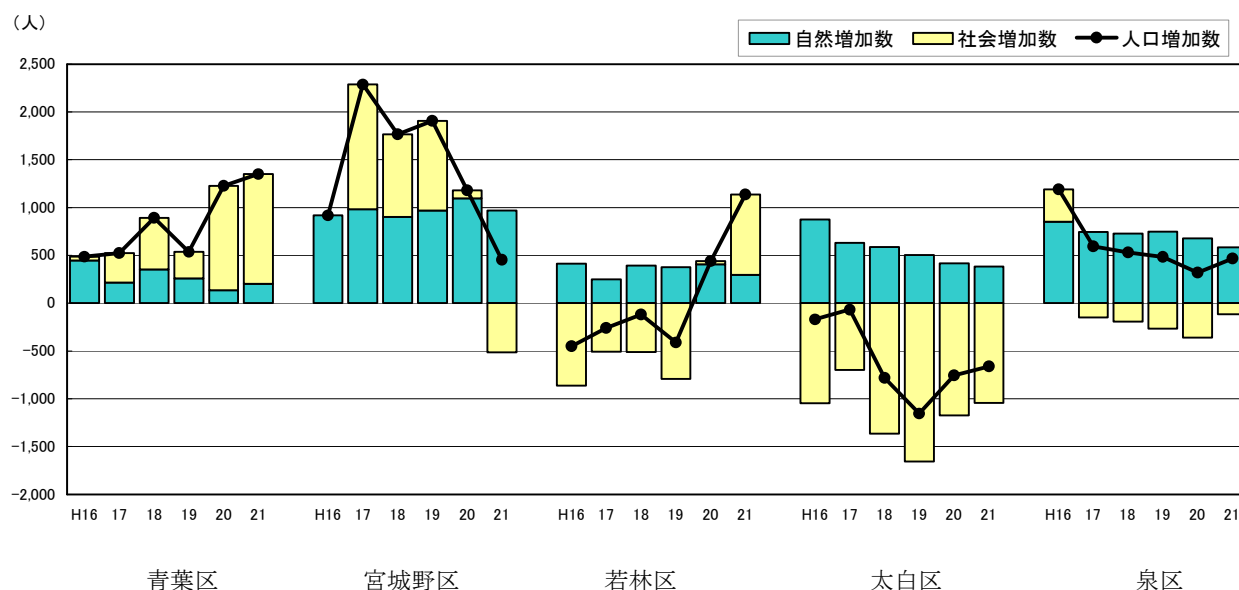
各年末（単位：人）

年次	仙台市	青葉区	うち		宮城野区	若林区	太白区	うち		泉区
			宮城総合支所					秋保総合支所		
平成16年	1,011,249	273,430	63,176		177,721	128,257	222,632	4,772		209,209
17	1,014,322	273,952	64,392		180,007	127,998	222,564	4,726		209,801
18	1,016,611	274,843	65,498		181,774	127,879	221,783	4,661		210,332
19	1,017,967	275,377	66,499		183,682	127,466	220,628	4,674		210,814
20	1,020,376	276,603	67,572		184,863	127,906	219,871	4,609		211,133
21	1,023,120	277,952	68,260		185,316	129,042	219,210	4,541		211,600

区別の動向をみると、太白区を除く全区において、人口が増加しています。宮城野区では、人口増ではあるものの、社会増加数が大きく減少しています。一方、若林区では2年連続で人口増となっており、平成21年は社会増加数が大きく伸びています。

人口増加数が最も多かったのは青葉区の1349人（自然増加数201人、社会増加数1148人）で、以下、若林区の1136人（自然増加数294人、社会増加数842人）、泉区の467人（自然増加数582人、社会増加数△115人）、宮城野区の453人（自然増加数968人、社会増加数△515人）、太白区の△661人（自然増加数381人、社会増加数△1042人）でした。（図2、表1、統計表第1表）

図2 人口増加数の推移－区（平成16～21年）



## 2 自然動態

平成21年の出生数は前年より214人減少して9402人、死亡数は前年より87人増加して6976人となったことから、自然増加数は2426人となり、平成20年の2727人に比べ301人減少しました。（図3、統計表第1表）

過去10年間の自然増加数の推移をみると、年々減少する傾向となっています。

区別の動向をみると、出生数は青葉区で前年より増加しました。死亡数は、宮城野区・若林区・泉区で前年より増加しました。

自然増加数が最も多かったのは宮城野区の968人（出生数2127人、死亡数1159人）で、以下、泉区の582人（出生数1767人、死亡数1185人）、太白区の381人（出生数1977人、死亡数1596人）、若林区の294人（出生数1224人、死亡数930人）、青葉区の201人（出生数2307人、死亡数2106人）でした。（図4、統計表第1表）

図3 自然動態の推移—全市（平成12年～21年）

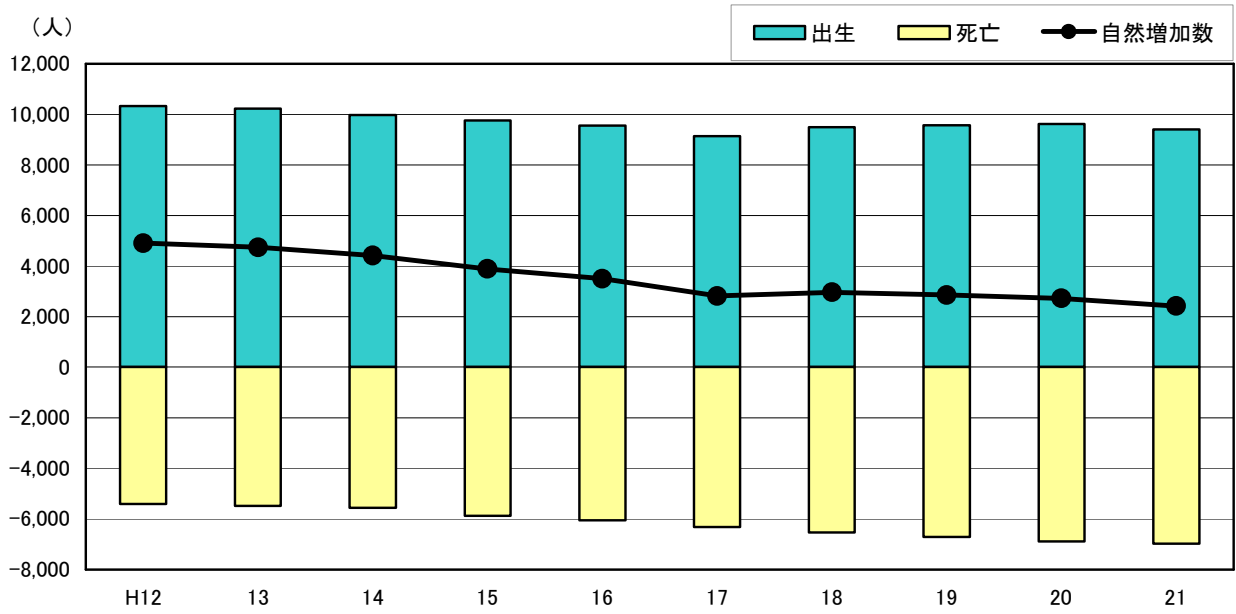
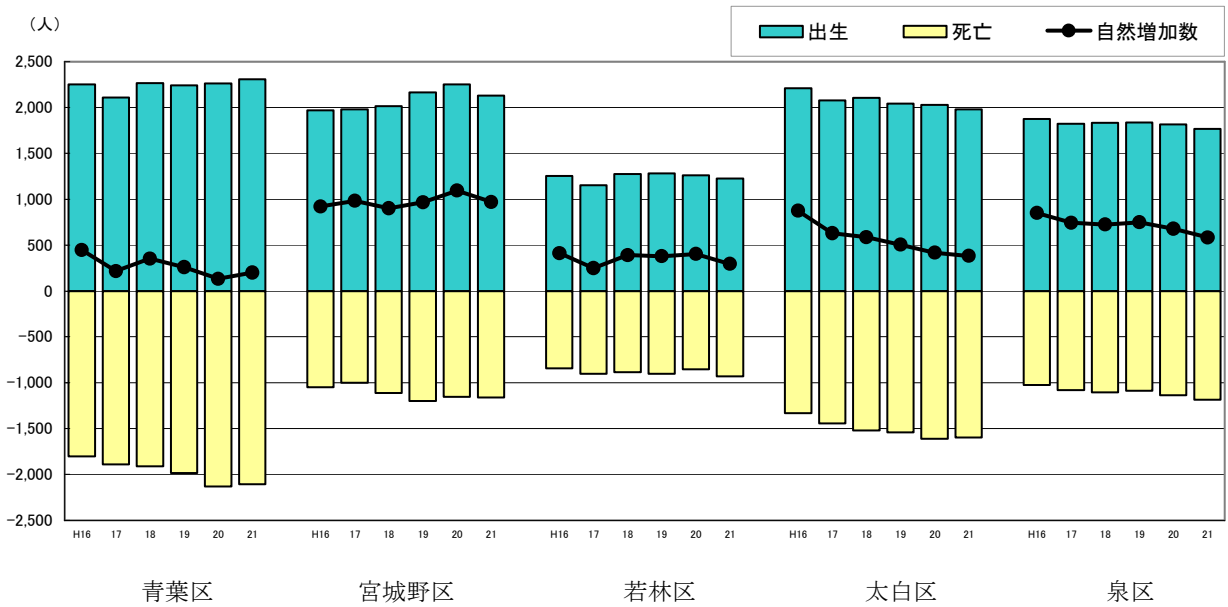


図4 自然動態の推移—区（平成16年～21年）



### 3 社会動態

平成21年の転入数は7万438人で前年より1521人の減少、転出数は7万329人と前年より2062人の減少、この結果、転入・転出数の差にその他増加数209人を加えた社会増加数は318人となりました。4年ぶりの社会増となっています。

過去10年間の社会増加数の推移をみると、特に県外・国外移動において流出超過の状況が続いています。

区別の動向をみると、県内移動では青葉区と若林区、泉区で転入超過、他の2区では転出超過となりました。県外・国外との移動では青葉区と宮城野区、若林区で転入超過、他の2区では転出超過となりました。

社会増加数が最も多かったのは青葉区の1148人（転入数2万2108人、転出数2万956人、その他増加数△4人）で、以下、若林区の842人（転入数9587人、転出数8754人、その他増加数9人）、泉区の△115人（転入数1万2252人、転出数1万2373人、その他増加数6人）、宮城野区の△515人（転入数1万4014人、転出数1万4670人、その他増加数141人）、太白区の△1042人（転入数1万2477人、転出数1万3576人、その他増加数57人）でした。

（図5、統計表第1表）

図5 社会増加数の推移—全市、区（平成16年～21年）

